

Step by Step

名寄市教育改善プロジェクト委員会事務局だより 第5号(平成26年6月2日発行)

本年度は、4月28日(月)に本年度新たに委員となった方への委嘱状交付と第1回の全体会議を行い、5月21日(水)には、第2回の全体会議、グループ会議を開催し3年目の活動が始まりました。本年度も「オール名寄」を合言葉に、学校力の向上＝教師の資質及び組織力の向上が名寄市の児童生徒の「生きる力」を育むための原動力であることを共通認識して事業を進めたいと考えています。以下、本委員会発足の経緯・テーマ・事業内容・組織と取組内容・本年度の取組をお知らせします。

1 教育改善プロジェクト委員会発足の経緯や事業内容等

<発足の経緯>

名寄市の子どもたちの課題は、基礎基本の定着や思考力・判断力・表現力の育成、家庭での学習習慣の定着、望ましい生活習慣の定着、日常的な運動習慣の定着などであり、これらの課題を継続的に改善する必要があります。

このため、市内小・中学校の教育活動を総合的に見直し、改善を図ることを目的としたプロジェクトを名寄市教育研究所内に組織しました。

<推進のテーマ>

児童生徒に「生きる力」を育み、夢と希望を拓く名寄市教育の創造
～学校力を高める取組を通して～

【推進の重点】

◎確かな学力の育成(平成24～26年度) ○豊かな心、健やかな体の育成(平成26～28年度)

<事業内容>

- 1 名寄市の知・徳・体の総合的な教育研究に関すること
- 2 名寄市の学校教育行政の運営及び推進に関すること
- 3 今日的教育課題に関すること
- 4 教育長への答申及び教育研究集会での報告に関すること

<組織と取組内容>

<グループ構成>
3研究グループ構成

【学習指導の工夫改善に関する研究グループ】

○学力向上に関する事業の効果的な活用を図る

<構成員(委員)>

市内の校長、教頭全員と各校から教諭1名以上、計61名

〔実践のキーワード〕

学力向上 Step by Step 26

学校力とは、①学校が組織として機能する力、②家庭や地域社会の支援によって生まれる学校の統合化された力

※「新しい時代の義務教育を創造する」H17中教審答申

【教育資源等の活用に関する研究グループ】

○学校力向上の視点から名寄市の教育資源等の活用を図る

【校内研修(研究)の充実に 関する研究グループ】

○学校力向上の視点から効果的な校内研修の推進を図る

2 平成25年度の取組概要

(1) 【学習指導の工夫改善に関する研究グループ】

- ① チャレンジテストの名寄市全体の状況把握や課題解決のための資料作成
- ② 一貫した学習規律の確立に向けた「名寄市学習規律」の作成
- ③ 家庭学習の充実に向けた資料の作成

(2) 【校内研修（研究）の充実に関する研究グループ】

- ① 校内研究を推進するためのQ & A作成
- ② 学校力向上に関する総合実践事業アドバイザーによる講演会の実施（3回）

(3) 【教育資源等の活用に関する研究グループ】

- ① 人材活用の実践例の作成
- ② ICT活用例の作成（電子黒板・実物投影機等）

3 本年度の推進計画(概要)

月	主な内容
4月	○教育改善プロジェクト委員会 ・委嘱状交付式 ○第1回委員会，全体会議 第1回研究グループ会議
5月	○第2回委員会，全体会議 第2回研究グループ会議 ・本年度の研究内容，計画等
6月	○各研究グループの研究内容， 計画の周知 ○研究活動の開始
7月	○必要に応じて全体会議，研究 グループ会議を実施
11月	○市教委及び各学校へ随時研究 内容の環流や情報提供
12月	○第3回委員会全体会議 平成26年度の活動のまとめ
1月	○教育長へ本年度の研究を答申 ○名寄市教育研究集会で今年度 の成果について発表
2月	○第4回委員会全体会議，研究 グループ会議 次年度の研究計画について 検討，修正等

4 本年度の主なグループ研究内容

【学習指導の工夫改善に関する研究グループ】

- 1 学習規律の徹底と学習習慣の確立
 - ・学習規律アンケート実施（6月・12月）
 - ・明確になった課題への対応
- 2 道徳の読み物資料，指導案作成と実践
 - ・郷土の力士名寄岩の道徳読み物資料作成
 - ・読み物資料に基づく道徳授業の実践
（11月名寄南小で授業公開予定）

【校内研修の充実に関する研究グループ】

- 1 24・25年度作成資料を活用した研修
の実施
 - ・ミドルリーダー研修の実施
 - ・ミドルリーダーが各学校に出向いて
の研修の実施
- 2 全国体力・運動能力・運動習慣等調
査の結果分析
- 3 名寄市児童生徒の体力等の課題把握
及び課題解決の効果的指導の在り方

【教育資源の活用に関する研究グループ】

- 1 市内の活用可能な教育施設の周知と活
用の成果・課題の集約
- 2 授業において効果的に活用できるI
CT活用例の集約と資料の作成
- 3 ICTの効果的な活用にかかわるミ
ニ研修の実施

※ お知らせ：7月4日（金）に名寄小学校を会場にして講師に横浜市在住で元横浜市初任者指導アドバイザーの野中信行氏をお招きして国語の提言授業と日常授業の改善をテーマにした講演を予定しています。詳しい日程・内容等は，後日お知らせします。多くの方の参加を期待しています。尚，本年度は他に3名の講演会を予定しています。これらの講演会のお知らせも詳しい日程等が決まり次第ご案内します。

Step by Step

名寄市教育改善プロジェクト委員会事務局だより 第6号(平成26年12月25日発行)



2学期が本日で終わります。今年度も多くの皆様のご支援・ご協力ありがとうございました。各研究グループごとの本年度の事業を、以下のようにお知らせします。

<学習指導の工夫改善に関する研究グループ>

- 1 学習規律の徹底
6月と12月に各学校へのアンケートを実施し、月別重点目標を明確にして学習規律の徹底に向けた取組を実施しました。
- 2 道徳指導案（名寄岩の読み物資料）を研究員全員で作成し、11月27日に名寄南小6年学級（松田隆之教諭）で授業実践を行いました。



<道徳の授業風景①>



<道徳の授業風景②>

<校内研修の充実に関する研究グループ>

- 1 校内研修班を中心として、校内研修を軸とした資質向上の取組として①校内研究推進のQ & A等の資料を活用したミニ研修、②学校力向上に関する総合事業アドバイザーによる教育講演会（2回）の運営等、③「初任段階教員研修等」の効果的なもち方と活用、④道徳の研究推進を行いました。
- 2 保健体育班を中心として、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果分析（本年度は平成25年度結果を基にして）及び課題を克服するための効果的な指導の在り方について追究しました。



<ミドルリーダーによる出前ミニ研修>



<管理職によるミドルリーダー研修>

<教育資源等の活用に関する研究グループ>

- 1 （仮称）市民ホール等、名寄市内の利用可能な教育施設についての周知と（仮称）市民ホールの活用と課題について追究しました。
- 2 授業におけるICT機器の具体的な活用例及び指導案を集約し、まとめました。
- 3 ICTの効果的な活用に関わる研修とミニ研修を実施しました。



<ICTの有効活用に関わる研修①>



<ICTの有効活用に関わる研修②>

今年度の活動における成果と課題の整理について

1 名寄市教育委員会への答申

今年度の名寄市教育改善プロジェクト委員会の成果物をまとめ、1月21日に教育委員会へ答申する予定です。



2 活動のまとめと周知

(1) バインダーに綴じて各学校に配付

各研究グループの活動内容をまとめた成果物をバインダーに綴じ、各学校に1冊ずつ配付します。日常の教育活動や校内研修等で活用ください。〈2月配付予定〉

(2) 各学校での周知と活用

バインダーと合わせてデータも配付しますので、内容について教職員への周知を図り、増す刷りをするなど必要に応じて研修等で活用ください。



第4回名寄市教育改善プロジェクト委員会の開催について

今年度の事業についてまとめ、平成26年度の事業の確認、次年度の活動の方向性について確認するため、第4回名寄市教育改善プロジェクト委員会を開催します。

委員の皆様には、3学期に改めてご案内いたします。

- ◇ 開催日時 平成27年2月18日(水) 16:00~
- ◇ 会場 名寄市役所 4階 大会議室
- ◇ 内容 今年度の各研究グループの活動内容交流・次年度の活動についてなど

◇ 学校力向上に関する総合実践事業と連携した研修会のご案内 ◇

〈学校力向上に関する総合実践事業アドバイザーによる研修会③〉

〈講演題〉 ワークショップ「防災教育に関わって」

〈日時〉 平成27年1月28日(水) 14:00~16:00 (受付は13:45~)

〈会場〉 名寄小学校 音楽室

〈締め切り〉 1月9日(金) 各学校ごとに風連中(担当:菅藤教頭)へ

講師 佐々木 貴子 氏 (北海道教育大学 教育学研究科 教授)

◇ 名寄市教育研究所と連携した研修会のご案内 ◇

〈講演題〉 「教師は人間関係のプロである」
~生徒指導の基盤としてのリレーション~

〈日時〉 平成27年1月29日(木) 13:30~15:20 (受付は13:10~)

〈会場〉 名寄市民文化センター(1階多目的ホール)

講師 諸 富 祥 彦 氏 (明治大学 文学部 教授 教育学博士)